

東日本大震災津波からの 復興の取組状況について

～ いのちを守り 海と大地と共に生きる
ふるさと岩手・三陸の創造 ～

令和5年6月19日

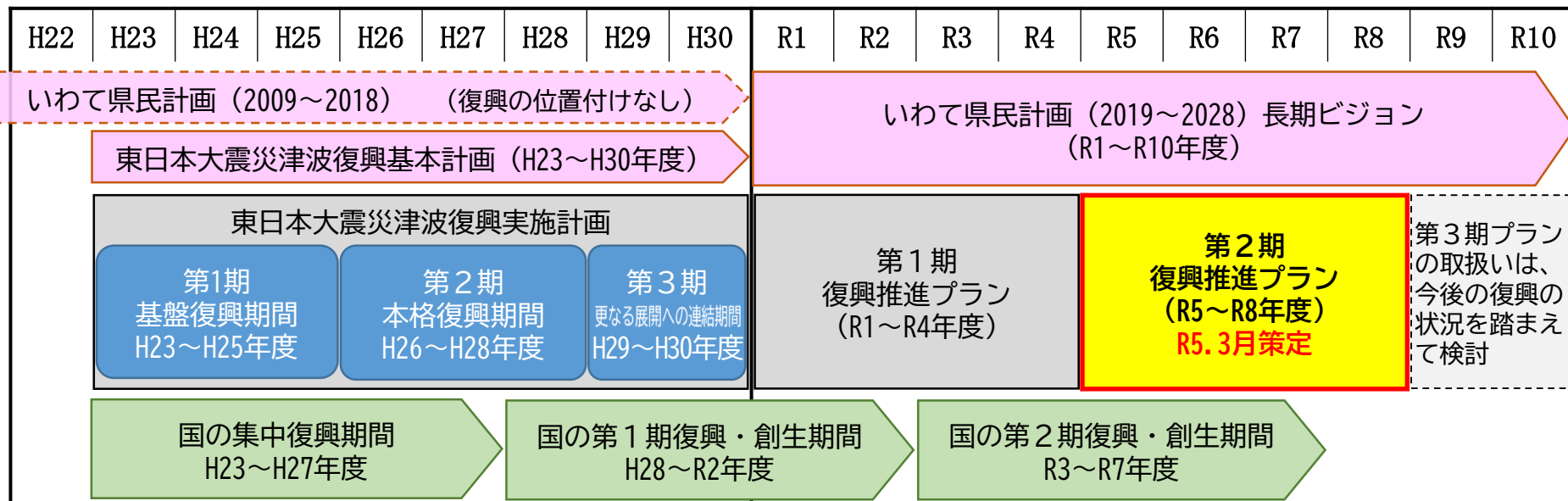
❄ 岩手県



岩手県イメージキャラクター「わんこきょうだい」

➤ 岩手県の復興関連計画

1 本県の復興関連計画の変遷



2 第2期復興推進プラン（令和5年3月策定）

個人の尊厳を基本価値とし「誰一人として取り残さない」という理念のもと、これまでの復興の取組の成果を踏まえ、三陸のより良い復興の実現のために必要な取組を実施

プランの構成

「より良い復興～4本の柱～」、「12分野」ごとに、「主な取組内容」と「県以外の主体に期待される行動」を掲載

I 安全の確保

- 1 防災のまちづくり
- 2 交通ネットワーク

II 暮らしの再建

- 3 生活・雇用
- 4 保健・医療・福祉
- 5 教育・文化・スポーツ
- 6 地域コミュニティ
- 7 市町村行政機能支援

III なりわいの再生

- 8 水産業・農林業
- 9 商工業
- 10 観光

IV 未来のための 伝承・発信

- 11 事実・教訓の伝承
- 12 復興情報発信

東日本大震災津波からの復興に向けた現状と今後の主な取組

I 安全の確保

1 海岸保全施設等の復旧・整備

(1)防潮堤等津波防災施設の復旧・整備
防潮堤や水門の整備を進め、計画した73地区中、令和4年度までに71地区の整備が完了



整備中の普金海岸防潮堤 (大船渡市)

(2)水門・陸こう自動閉鎖システムの整備
計画した214か所中、令和4年度までに206か所で整備が完了

2 復興関連道路等の整備

県が整備を進めてきた復興関連道路等は、令和4年7月までに計画した93か所全ての整備が完了

3 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に備えた地震・津波対策の推進

令和4年9月に、本県最大クラスの津波被害の具体的な想定を市町村ごとに示した「岩手県地震・津波被害想定調査報告書」を公表
今後起こり得る巨大地震・津波に備え、沿岸市町村と実務レベルの検討組織を立ち上げ、具体的な減災対策を検討 (令和5年夏頃を目途にとりまとめ)

<今後の主な取組>

- ① 残された社会資本の早期整備
- ② 津波避難計画の見直しや個別避難計画の作成、避難場所の整備促進など、沿岸市町村の取組へのきめ細かな支援
- ③ 「移転元地」や「造成地」の利活用の支援
■移転元地・造成地の利活用状況 (令和4年12月末現在)

| | | |
|---------------------|---------------------------------|-----------------------------|
| 移転元地 (全体321.9ha) | 活用開始決定済 61% (196.4ha) | 未活用 39% (125.5ha) |
| | 活用済 57% (169.8ha) | 未活用 43% (127.6ha) |

④ 風評被害の払拭に向けた、放射線影響対策の実施

II 暮らしの再建

1 被災者のこころのケアの推進

岩手医科大学内(矢巾町)の「岩手県こころのケアセンター」及び沿岸部の4箇所に設置している「地域こころのケアセンター」において、きめ細かなこころのケアの取組を継続

■こころのケアセンターにおける相談件数の推移

| | | | | | | |
|------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|
| 年度 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 |
| 相談件数 | 7,444 | 10,201 | 10,747 | 11,613 | 9,041 | 8,338 |
| 年度 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | |
| 相談件数 | 7,397 | 7,611 | 5,353 | 7,274 | 7,304 | |

2 被災者の生活再建の支援

(1)いわて被災者支援センターによる相談対応
令和3年度に設置した「いわて被災者支援センター」において、専門家や関係機関との連携による被災者の生活再建を支援

■相談対応回数(令和3年度～)

| | 相談回数 | 相談内容の内訳 |
|------|-------|-----------------------------|
| R3年度 | 1,288 | 家族(271回)、家計(259回)、債務(148回)等 |
| R4年度 | 2,664 | 家族(630回)、家計(471回)、債務(407回)等 |

(2)生活支援相談員による見守り活動等
生活支援相談員による見守り活動の継続や、災害公営住宅等におけるコミュニティ形成支援のため「地域見守り支援拠点」の設置を推進

<今後の主な取組>

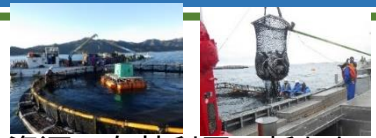
- ① 被災者に寄り添ったこころのケアの継続実施
- ② 住民が主体となったコミュニティの形成と活性化に向けた支援
- ③ 復興・発展を支える人材や、災害発生時に主体的に行動する人材を育成する「いわての復興教育」の推進
- ④ 持続可能な地域公共交通ネットワークの構築支援



「いわて復興教育」児童生徒実践発表会

東日本大震災津波からの復興に向けた現状と今後の主な取組

III なりわいの再生



1 水産業・農林業の振興

主要魚種の資源回復、増加している資源の有効利用、新たな漁業・養殖業の導入等を3本の柱に、主要魚種の不漁対策の取組を推進

■サケ・マス類の海面養殖生産量

| 年度 | R元 | R2 | R3 | R4 |
|--------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|
| 海面養殖生産量 (実施地区数) | 18t (1地区) | 177t (3地区) | 565t (4地区) | 1,209t (6地区) |
| サケ漁獲量 | 2,292t | 1,734t | 413t | 446t |

※過去のサケ漁獲量：最大73,526t(H8年度)

2 商工業・観光の振興

復興の動きと連動し、観光キャンペーンの展開や震災学習を中心とした教育旅行の誘致等の取組を推進

■三陸地域（沿岸12市町村）の主要観光地入込客数

| H22年度 | H23年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 4,703千人 | 4,463千人 | 4,479千人 | 1,969千人 | 2,251千人 | 3,108千人 |

<今後の主な取組>

- ① 大型で遊泳力の高い強靱なサケ稚魚の生産・放流やアワビ種苗の放流等による資源回復、サケ・マス類の海面養殖の推進



アワビ種苗の放流

■サケ・アワビ漁獲状況

| | 震災前 a | R4年 b | b/a |
|-----|---------|-------|-------|
| サケ | 25,019t | 446t | 1.8% |
| アワビ | 343t | 111t | 32.4% |

※サケ(漁獲量)には、河川捕獲及び海産親魚を含む
※震災前はH20~H22の平均値

- ② 地域農林水産業の核となる経営体の育成と新規就業者の確保・育成
- ③ 新たな交通ネットワークを活用した産業振興の推進
- ④ ニューヨーク・タイムズ紙に「2023年に行くべき52か所」として盛岡市が掲載されたことを契機とした、本県へのインバウンド誘客と沿岸地域への周遊の促進

IV 未来のための伝承・発信

1 事実・教訓の伝承

東日本大震災津波伝承館において、県内外の震災伝承施設等と連携し、企画展示やセミナーを開催

■伝承館来館者数 令和5年4月11日に70万人を達成

| R元年度 開館(9/22)~3月 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | 合計 (R元~R4年度) |
|---------------------|----------|----------|----------|-----------------|
| 148,737人 | 170,699人 | 168,613人 | 207,009人 | 695,058人 |

2 復興情報の発信

- (1) 「いわて復興未来塾」や「復興フォーラム」の開催
多様な主体が参画するフォーラムの開催等を通じ、県内外へ復興の取組と岩手の魅力を発信
- (2) 第73回全国植樹祭いわて2023の開催
高田松原津波復興記念公園（陸前高田市）で6月4日（日）に開催した第73回全国植樹祭において、「支援への感謝」と「復興の姿」を国内外へ発信



<今後の主な取組>

- ① 東日本大震災津波伝承館を拠点とした、震災の事実・教訓の伝承
- ② 震災ガイドの交流を促進し、防災・震災伝承の担い手を育成
- ③ 県内外の震災伝承施設等と連携した三陸地域の多様な魅力の発信を通じ、三陸地域への周遊を促進
- ④ 各地の震災伝承施設と観光資源を融合させた周遊プログラムの開発などにより、三陸地域の新たな交流人口を創出



津波遺構 たろう観光ホテル

1 復興の推進に必要な予算の確保

- 予算の確実な措置と被災地の実情に応じた取組の継続
- 新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰等の影響で収入が落ち込む事業者への支援

2 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に備えた地震・津波対策への支援

- 地震・津波対策の推進に向けた、既存交付金の充実や新たな財政支援制度の創設
- 積雪寒冷地特有の課題を踏まえた対策を着実に実施するための財源の確保

3 被災者の生活再建に対する支援

- 被災者支援総合交付金等による被災者の生活再建に向けた支援やこころのケア、コミュニティ形成・活性化支援の継続

4 なりわいの再生に対する支援

- 被災事業者への支援策の継続（資金繰り支援、販路拡大、生産性向上、労働力確保等）
- 主要魚種の不漁や物価・燃料費高騰等により危機的状況にある水産業への支援
- 移転元地の利活用に向けた支援
- 福島第一原子力発電所A L P S処理水の処分に関する丁寧な説明とあらゆる分野に対応した風評対策の推進

5 定住やU・Iターン促進、若者・女性活躍に向けた支援

- 定住や地方への人の流れの加速に向けた支援（地方創生の推進、地方創生移住支援事業の拡充等）
- 若者・女性の活躍への支援（雇用・労働環境の改善に資する取組の推進、NPO等への支援、地域女性活躍推進交付金などの財政措置）

6 東日本大震災津波からの創造的復興に資する国際リニアコライダー（ILC）の実現